

行政評価シート(事後評価)

コード 8-3-3	事務事業名 自転車教室事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	市内小学校の生徒を対象に自転車教室を実施し、自転車の安全な乗り方および交通ルールの習得により、交通事故防止を図る。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等		
	校庭に自転車実技訓練コースを描き、信号機等の交通器材を用いて、田無警察署員・職員・交通安全協力員等が交通ルール等の指導、実技訓練を行う。安全協力員は各小学校2名であり、謝礼を支払っている。 また、学校の要望により交通安全講話・映画による視聴覚教室を実施する。教室の開催後は交通安全教習(冊子)やキーホルダーなどを配布し啓発活動を行っている。小学校の父兄は自転車教室の重要性を認識していることから教室開催の要望は強い。		
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			468	779	728
財源: 国庫支出金・都支出金	千円					
財源: 地方債						
財源: その他 ()						
財源: 一般財源		468	779	728	742	
所要人員(B)	人		0.14	0.14	0.14	0.20
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		1,146	1,143	1,143	1,632
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		1,614	1,922	1,871	2,374
単位当たりコスト (E)=(D)/ (実施数(学校数))	千円		90	113	110	125

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	実施数(学校数)	実績値	事業	18	17	17	19
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 自転車教室を実施した学校数						
成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
一 参加人数	目標値	人				5,178	
	実績値	人	2,434	2,679	3,008		
二 市内交通事故発生件数	目標値	件数			865	836	
	実績値	件数	1,028	939	905		
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)各施設で開催した自転車教室に参加した人数							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	校庭を使用する実技訓練のため、雨天により中止となった場合については、再実施の要望がある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣区市についても同様の事業を行っている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 8-3-3	事務事業名 自転車教室事業	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	------------------	--------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	自転車による死亡事故が発生しており、自転車のルール無視やマナー違反によるものが少なくないため、交通事故防止に向けて、小学生時から自転車の正しい乗り方、自転車利用時のルール、マナーを含めた自転車教室を実施することが必要である。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本市の交通事故のうち、自転車が第一当事者(主たる原因者)である事故は約15%であり、都内の平均を上回る状況にある。また、第2当事者の事故を含めると50%を超えており、道路交通法の改正も考え合わせれば、自転車利用時のルールやマナーの習得は重要なテーマといえる。 最近、自転車に乗りながらの携帯電話使用や、猛スピードでの交差点通過等、若者を中心とするルール違反やマナーの低下は、目に余るものがある。 今後も、関係機関との連携を図りながら、当該事業を実施することは、小さい頃からルールとマナーを身につけてもらう意味でも重要である。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本市における自転車事故の発生状況を踏まえれば、自転車利用時のルールやマナーの習得は重要であり、引き続き事業の推進に努められたい。